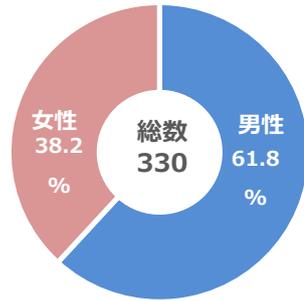


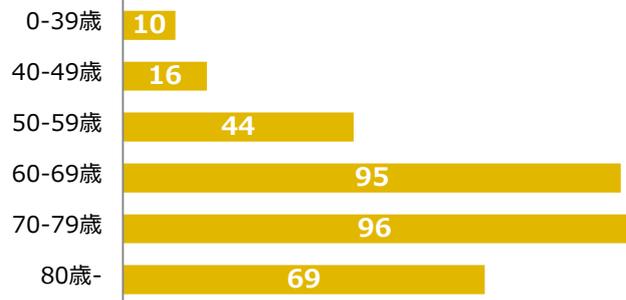
3. 部位別《大腸》

* 症例区分：「診断のみ」「初回治療終了後」「その他」を除く

3-1. 男女比



3-2. 年齢別登録件数



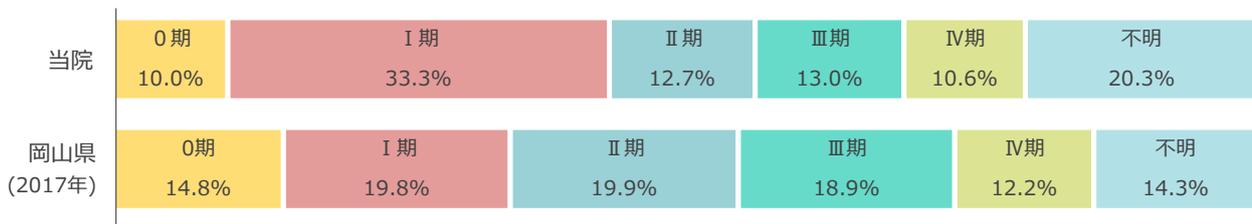
3-3. 岡山県施設別登録件数割合(2017年)

* がん診療連携拠点病院等9施設で集計しています。
* 2018年集計値はまだ公表されていません。

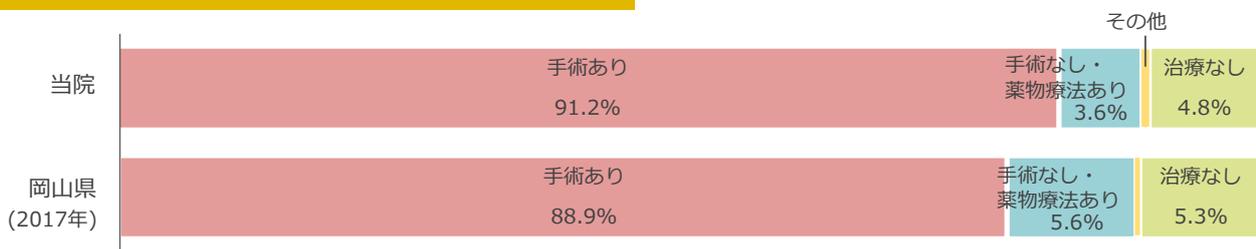


3-4. 治療前ステージ割合 (UICC第8版)

* 2017年症例はUICC第7版で分類しています。



3-5. 治療別割合



3-6. 手術内訳

* 原発巣切除のみで集計しています。



岡山県で第2位のシェアを占めています。I期の症例が多いのは、内視鏡センターにて積極的に内視鏡下粘膜下層剥離術(ESD)に取り組んでいることが理由としてあげられます。また、開腹手術と比べて傷が小さく痛みが少ない、腸が空気に触れないため手術後腸の動きが早めに始まる、という利点もある鏡視下手術にも積極的に取り組んでいます。技術を競うシミュレーターコンテストで優秀賞を受賞しました。